

自転車安全大会に 笠松小学校が出場

第32回岐阜県交通少年団自転車安全大会

第32回岐阜県交通少年団自転車安全大会が7月24日、岐阜アリーナで開催され、笠松小学校の6年生4人が出場しました。

大会には県内の16小学校が出場し、交通ルール・道路標識などの学科テストと、自転車の安全走行、技能走行の実技試験に挑みました。

子どもたちは、交差点で「右よし、左よし」と大きく元気な声を出して、しっかりと安全確認をしていました。



県交通少年団自転車安全大会に出場した児童たち



安全走行の実技試験に挑む笠松小学校の児童

カメラの眼

まちの出来事



力いっぱい高見盛関と対決する園児たち

お相撲さんから大金星を取ったよ

笠松双葉幼稚園

たかみ さかり か おうにしき だい まな づる
高見盛関と華王錦関、大真鶴関の3力士が7月28日、笠松双葉幼稚園を訪れました。

テレビに出ているお相撲さんを目の前にした感動や体の大きなお相撲さんに驚きを隠せない園児たちでしたが、皆で力を合わせて対決した綱引きや相撲で、見事に大金星を取りました。また、「どうしたら大きくなれますか」と高見盛関に尋ねると、「お父さん、お母さんの言うことをよく聞いて、好き嫌いなく何でも食べると大きくなりますよ」と教えてくれました。

遊んでくれたお相撲さんとのお別れには、園児手作りのメダルなど心のこもったプレゼントを渡しました。

今日の出来事は、小さな体の園児の大きな夏の思い出として心に残ることでしょう。

わたしたちの手で守ろう!

トンボ天国

下羽栗小 夏休みトンボ池環境学習

夏休みトンボ池環境学習(木曾川上流河川事務所・笠松町主催)が8月6日笠松トンボ天国で開催され、日頃からトンボ池の清掃や保護活動を行っている下羽栗小学校の児童16人が参加しました。

児童たちは手作りの竿でアメリカザリガニを釣ったり、たも網で魚捕りを楽しみながら、講師で県河川環境研究所の米倉竜次主任研究員からトンボ天国に生息する外来種と在来種の説明を受けたり、トンボ池の水質調査も行いました。



トンボ池に生息する外来種と在来種を学ぶ児童たち

トンボ池で発生している外来種などの問題点を学んだ児童たちは、岐阜県最大のビオトープ「笠松トンボ天国」の自然環境の大切さを学びました。